

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは？

1. A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは？

- ・主に小児の間で、急性咽頭炎として発生する疾患です。
- ・通常、「冬季」「春から初夏」の2つのピークを認める感染症です。2020年春以降は大きな流行はありませんでしたが、2023年は3月下旬頃から全国的に流行を認めています。
- ・一般に、発熱、のどの痛み、全身倦怠感、嘔吐といった症状を起こします。

2. どのように感染するの？

- ・感染経路：飛沫感染、接触感染
患者の呼吸器分泌物(咳やくしゃみ)や、患者本人との接触を介して感染します。
- ・病原体：A 群溶血性レンサ球菌
※A 群溶血性レンサ球菌は、菌の侵入部位や組織によって様々な症状を起こします。よく見られる疾患として、咽頭炎の他、膿痂疹(とびひ)や蜂巣織炎などがあります。
- ・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、家庭内、学校、保育施設などでの集団感染が多く見られることがあります。

3. 症状は？

- ・潜伏期間：2～5日
- ・症状：突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感により発症し、しばしば嘔吐を伴います。軟口蓋の点状出血やイチゴ舌を伴うこともあります。通常は、3～5日以内に解熱し、主症状は1週間以内に消失する予後良好の疾患です。
- ・合併症：肺炎、髄膜炎、敗血症、猩紅熱(しょうこうねつ)、リウマチ熱、急性糸球体腎炎などに発展することがあります。

4. A 群溶血性レンサ球菌の治療は？かかったときはどうすればいいの？

- ・抗菌薬による治療が行われます。
症状を認めた場合は早めに医療機関に相談しましょう。
また、医療機関の指示に従い、抗菌薬を適切に服用することが重要です。
- ・感染者との接触により感染するため、体調不良者は出勤・登校・登園を控えましょう。

5. 感染を予防するためには？

感染者との接触を避けることが最も重要です。手洗いや咳エチケットなどの一般的な予防対策が効果的です。

(1)手洗い・うがい

- ・流行時には、こまめな手洗いとうがいが重要です。石けんを使い、丁寧にこすり洗いをし、水で洗い流しましょう。
- ・手洗い後はペーパータオル等を使って手を拭きます。
タオルを使用する場合は、毎回タオルを交換するか、清潔な個人用タオルを使用しましょう。
水道の蛇口は、手と一緒に洗うか、ペーパータオルを利用して締めると、手の再汚染を防げます。

(2)マスクの着用、咳エチケット

- ・咳やくしゃみなどの症状がある方は、周囲への感染予防のためにマスクを着用し、咳エチケットに配慮しましょう。
- ・感染者との密接な接触を避けましょう。

